

# 防災について考える一日 6月土曜授業

熊本地震から2年2ヶ月。私が美咲野小に赴任してすぐに、熊本地震は起こりました。この地震が子どもたちが学校にいる時に起こったら・・・を想像するだけで震えました。あの時の混乱は一生忘れないと思います。地震は4月。新学期始まってすぐ。職員数も児童数も世帯数も多く、しかも地域のつながりがうすい美咲野小学校区。地域のつながりをつくらなければならない。顔の見える関係にならなければならない。大規模校だからこそ、引き渡し訓練をしなければならない。熊本地震を忘れてはならない。と思いました。(6月18日月曜日、大阪で大きな地震がありました。登校の時間帯でした。たとえば1年生でも自分で考えて行動しなければならないことも出てきます。子どもだけの時に地震が起こることも想定しておかなければなりません。)1年に数回は、子どもも職員も保護者も、みんなで防災について考える日をつくらなければならないと、PTA 執行部とも相談して、この6月の土曜授業と1月のどんどやをそれにあてようと進めてきました。というわけで、今回の柳原志穂さんに講演を依頼した次第です。

# 美咲野小だより

6月

NO.5  
H30.6.29  
大津町立  
美咲野小学校  
文責：草場ルミ子

## 柳原志穂さんのお話～抜粋～ ～生きる力～

- ①命を守る力 ②判断力
- ③コミュニケーション力

### 約束事を決めておく

「あなたは子どもです。学校が休みの日、震度6の地震。両親はおらず、電話もつながりません。あなたは家にいますか？」の問いに、子どもの答えと親の答えは一致しませんでした。

↓

親と子どもで考えていること、行動は一致しない。大切なのは、何かあった時の約束事を決めておくこと。

### 防災バッグを準備しておく

「非常食が一人分だけバッグに入っています。避難所ではあなたはその非常食を出しますか？出しませんか？」「出す」・「出さない」どちらも正解。出して食べようにも「助け合いでしょ！」なんてことを言う人がいると食べにくい。現実にはそんなことが起こります。

↓

だからこそ、一人一人が非常食等を備えておくことが大切です。みんなが被災者です。まずは、車のトランクに防災バッグを！

### パーソナルカードを下げておく

「子どもさんのバッグ等に〔保護者名・連絡先・血液型・アレルギーの有無など〕を記入したパーソナルカードをつけておくとうい。」

↓

講演会終了後、引き渡し訓練を行いました。一緒に教室で待っていた友達がだんだん減っていくと、心細そうな子どもがいました。その姿を見て、「美咲野小では、名札の後ろに家族の写真(プリクラなどでもいいですよ)の裏に「必ず迎えに行くからね！」のメッセージを書いて入れておくことを推奨しようと思いました。名札は、いつも学校に置いて帰ります。

下の標語は、地震直後に、保護者の方から寄せられた標語です。本当に何かあったら美咲野小の一番下の兄弟姉妹の教室で待つ！迎えが遅くたって名札の裏の写真を見ながら信じて待つ！ようになればいいですね。



行ってきます！何かあったら美咲野小で！

もしもに備えるいつも！

地震直後のH28年5月6日(休校中)、当時の職員みんなで、元宮城県女川一中教諭の佐藤敏郎先生から、話を聞くことができました。避難訓練は失敗してOK！集会等は、避難訓練と同じ気持ちで集合し、「話は静かに聞く」を当たり前に行わなければならないことを教えてもらいました。是非、子どもたちや保護者の皆さんにも、佐藤先生の話聞いてほしいと思い、H28年12月3日に当時の5・6年生と保護者を対象に講演会を開催したところです。

その佐藤敏郎先生が、7月13日(金)14:20～美咲野小体育館で講話をして



くださいます。(案内は別紙)5・6年生と全保護者が対象です。都合がつかれる方は、どうぞおいで下さい。体育館は暑いですが。うちわ持参で！

←小さな命を考える会HPより



## 美咲野の

柳原志穂さんに来ていただくことができたのは、こんなにいきさつがありました！去年の秋頃、私と防災主任の米田先生と、PTAの清原会長と野山副会長と高尾野の防災倉庫を見学させてもらったことがありました。その際、今度、区長会の研修で柳原さんが大津町に来られること、府内区長さんとお知り合いであること、聞き、柳原さんを紹介していただいたのです。そのとき、H30年度の六月の土曜授業で親子で聞く防災講演会をしていただけなかと予約していたんです。実際にきてホントによかったです。

防災講演会は六月十六日土曜、その翌月曜日の六月十八日午前八時頃、大阪で大きな地震がありました。しかも登校時間帯で小学生も犠牲となりました。「もしもに備えるいつも！」という、柳原さんの言葉の重みを感じます。